

令和3年度行政評価 施策評価シート (令和2年度実績)

施策名 良好な景観の形成

施策コード 5010102

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 都市計画課
関係課	

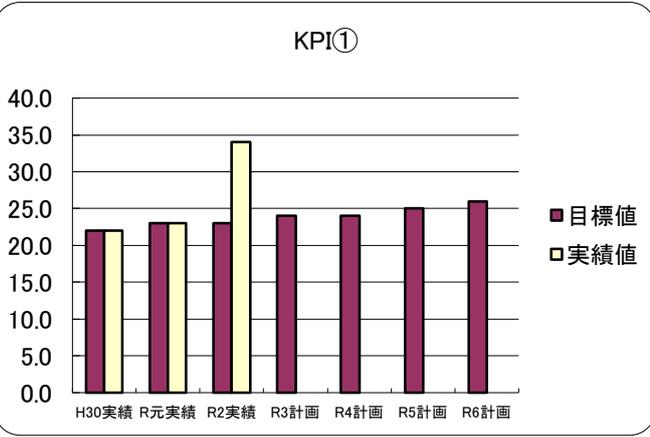
2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり (活力・賑わい)	節 第1節 観光
	施策	良好な景観の形成	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と行政が協働して、良好な自然環境の保全とともに、世界に開かれた玄関都市にふさわしい魅力ある都市景観の形成に努めます。</li> </ul>			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>泉佐野市都市景観条例に基づく届出制度を活用し、良好な都市景観の実現をめざしています。</li> <li>市民一人ひとりの景観に対する意識の醸成に努める必要があります。</li> </ul>			
施策目標			
対象 (誰を、何を、どこを)			
市民			
意図 (どのような状態にしたいのか)			
都市景観をとともに守り、育て、創り出していくことにより、地域の特性を活かし、個性を育み、誇りと愛着を感じるまちづくりを進めます。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	45.9						
重要度 (偏差値)	36.5						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R元決算	R2決算					
コストの内訳	人件費	千円	18,151	14,988				
	事業費		18,900	9,178				
	フルコスト		37,051	24,166				
財源の内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		642	922				
	市債		0	0				
	その他		1,433	1,832				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		34,976	21,412				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	16,825	6,424						

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 都市景観大規模建築物等 (景観重点地区含む) の届出件数							
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	22.0	23.0	23.0	24.0	24.0	25.0	26.0
実績値	22.0	23.0	34.0				
達成度	100.0	100.0	147.83				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
都市の景観に大きな影響を与える大規模建築物等 (景観重点地区含む) の届出件数		よりよい都市景観をつくり調和のとれた魅力的な街を形成するために、これらに対して誘導基準を定め届出制度を設けており、毎年20件前後の届出受理をし、必要に応じて指導を行うものである。			毎年20件前後の届出があるが、同程度の件数で推移していくことで、良好な景観の形成につながるものとする。		

図表



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	全国に先駆け平成9年に制定された「泉佐野市都市景観条例(自主条例)」により、良好な都市景観の形成に資する景観の届出件数は順調に推移している。自主条例を持たない他市に比べ、成果はでている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	毎年20件前後の届出で推移。 令和2年度は34件の届出があり、大幅に増加。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	平成17年6月の景観法の全面施行を受け、大阪府においても「大阪府景観計画」が策定される。市町村においても、地域特性に応じた景観計画策定などの施策を講ずることが重要とされている。
	合計点	(10点中) <b>9点</b>	
	総合評価	<b>A</b>	自主条例に基づく取組のほか、平成25年2月に景観法に基づく景観行政団体となり、同年3月に「泉佐野市日根荘の里大木地区景観計画」を定めるなど、積極的に景観施策を展開しているが、平成30年市民アンケート調査では市民の景観への満足度・重要度が低下しており、市民へ景観施策の認知度を高める必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>B</b>	引き続き、良好な景観の形成に向けた指導に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		<b>B</b>	引き続き、良好な景観の形成に向けた指導に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R2年度決算額			R3年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01040400	都市計画関連業務事業	14,988	9,178	6,424	0	B
合計			14,988	9,178	6,424	0	